

事後評価結果（令和2年度）

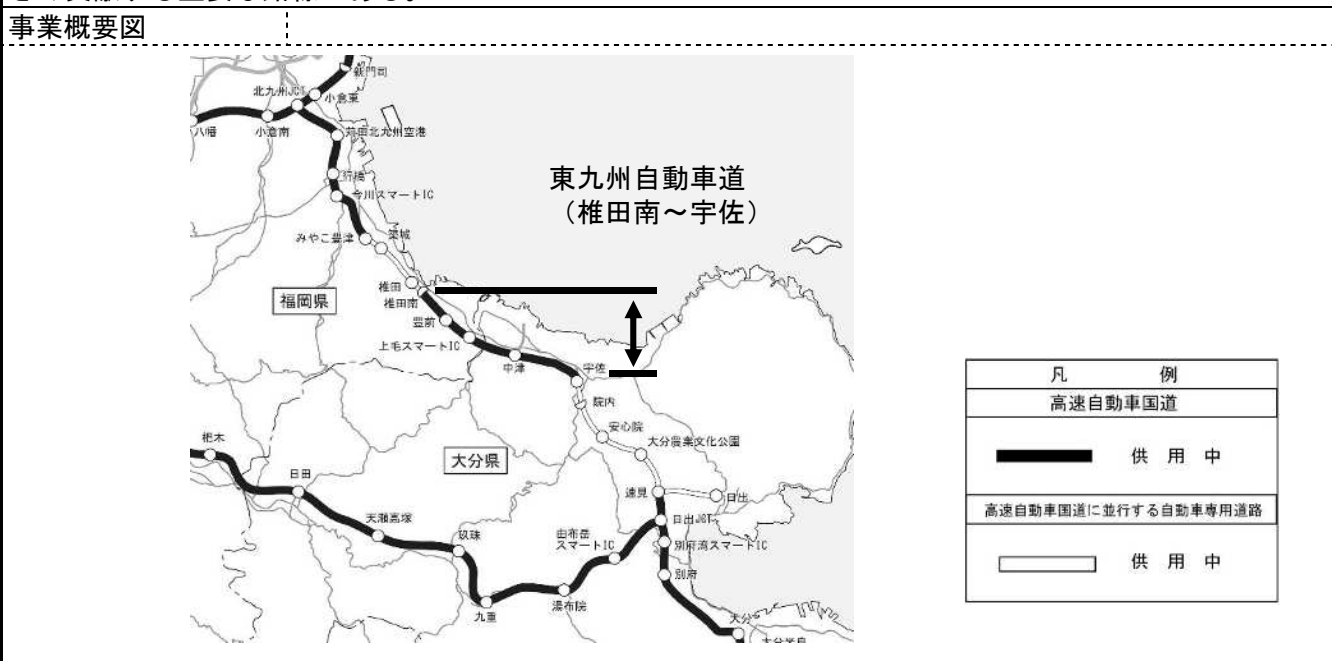
担 当 課：西日本高速道路(株)計画設計課

担当課長名： 田 中 克 彦

事業名 <small>ひがしきゅうしゅうじどうしゃどう</small> 東九州自動車道 <small>しいだみなみ うき</small> 椎田南～宇佐	事業区分 高速自動車国道	事業主体 西日本高速道路(株)
起終点 自：福岡県築上郡築上町上ノ河内 至：大分県宇佐市山本	延長 28 km	

事業概要
 東九州自動車道は、九州縦貫自動車道、九州横断自動車道と一体となって高速道路ネットワークを形成し、九州地方の一体的な産業、経済、文化の交流発展に資する路線である。

事業の目的・必要性
 評価区間である、椎田南～宇佐間は延長28kmの区間であり、東九州地域を含め新たな九州の循環型ネットワークを形成することで、人や物の流れがスムーズになるほか、地域の文化と経済の発展にも大きく貢献する重要な路線である。



事業の効果等	事業期間	事業化年度	H18年度	用地着手	H20年度	供用年	(計画) H28年度	変動	1.0倍	
		都市計画決定	H11年度	工事着手	H20年度		(実績) H28年度			
	事業費	計画時	(名目値) 976億円		実績	(名目値) 864億円		変動	0.9倍	
			(実質値) 980億円			(実質値) 868億円				
	交通量	計画時	6,200～8,200台/日 (平成26年度)		実績	9,100～11,000台/日 (平成31年/令和元年)		変動	134%	
旅行速度向上	42 → 82 km/h		交通事故減少		85 → 76 件/億台キロ					
(供用前現道→当該路線)		(供用前年次)H22 (供用後年次)H30		(供用前現道→供用後現道+当該路線)		(供用前年次)H22 (供用後年次)H30				
費用便益分析結果(事前) ※1	B/C	総費用: 1,065億円		総便益: 1,587億円		基準年		平成26年		
	1.5	事業費: 938億円 維持管理費: 128億円		走行時間短縮便益: 1,361億円 走行経費減少便益: 155億円 交通事故減少便益: 72億円						
費用便益分析結果(事後)	B/C	総費用: 1,316億円		総便益: 2,149億円		基準年		令和2年		
	1.6	事業費: 1,134億円 維持管理費: 182億円		走行時間短縮便益: 1,828億円 走行経費減少便益: 256億円 交通事故減少便益: 65億円						
事業遅延によるコスト増		費用増加額		便益減少額		— 億円				

	事業遅延の理由 —
	客観的評価指標に対応する事後評価項目 <ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況 ・物流効率化の支援 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上の状況 ・国土・地域ネットワークの構築 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する ・個性ある地域の形成 IC等からアクセスが向上する主要な観光地へのアクセス向上による効果 ・災害への備え 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成 他12項目について効果の発現が見られる。
	その他評価すべきと判断した項目 特になし
事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目 【大気質】 <ul style="list-style-type: none"> ・当該区間の整備により自動車からの二酸化炭素・窒素酸化物・粒子状物質の排出量が削減され、環境負荷低減に貢献。 CO2：約1万トン/年削減 NO2：約27トン/年削減 SPM：約2トン/年削減
	その他評価すべきと判断した項目 特になし
	事業評価監視委員会の意見 対応方針（案）のとおり対応方針を了承
	事業を巡る社会経済情勢等の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年6月に東九州自動車道津久見～佐伯間が供用を開始 ・平成26年3月に東九州自動車道苅田北九州空港～行橋間が供用を開始 ・平成26年12月に東九州自動車道行橋～みやこ豊津間が供用を開始
	今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 費用対効果分析の結果や現時点における利用状況、事業効果発現状況から、整備効果が得られており、本事業としては今後事後評価の必要性はないものと考えられる。
	計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 特になし
	特記事項 特になし

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を、割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものを記載
※1 事前は平成26年度に実施した東九州自動車道 椎田南～宇佐の再評価（全体事業）